



しみ治療いろいろ

クリニックでは、レーザー治療を中心にしみ治療を行っております。ロングパルスアレキサンドライトレーザーとQスイッチルビーレーザーを用いて、**老人性色素斑、雀卵斑、脂漏性角化症、ADM（後天性メラノサイトーシス）**等に対して治療をしています。

照射した部分にかさぶたができることがあり、テープでの保護が必要になることがあります。比較的安全性の高い治療法です。**治療には数回の照射が必要となる事が多く、治療期間には半年程度かかります。**

～1 cm ² (単発)	1 cm ² ～2 cm ² (基本)	2 cm ² ～3 cm ² (半側)	3 cm ² ～ (顔全体)
5,000 円	10,000 円	15,000 円	20,000 円

※税抜き価格です。

※太田母斑、蒙古斑、外傷性色素沈着症などは保険適応があります。

レーザー治療が効かないしみには…？

肝斑や炎症後色素沈着といわれているしみにはレーザー治療は有効ではありません。このタイプのしみには、**内服薬治療（ビタミン C・ビタミン E・トラネキサム酸）と外用薬治療（ハイドロキノンクリーム）**をお勧めしております。

その他、**ケミカルピーリングやイオン導入**もお勧めしています。ケミカルピーリングやイオン導入は、しわやたるみにも有効性があり、お肌の若返り効果があると言われています。

いずれの治療においても**内服薬治療と外用薬治療**は、併用していただくと効果的です。

レーザー治療で気をつけることは…？

レーザー治療後は、軽いやけどを起こします。照射後3日間は炎症をおさえる外用薬（エギザルベ軟膏）を塗っていただきます。紫外線の影響も受けやすいため、**日焼け止めを使用し、紫外線予防に心掛けて下さい。**

***詳しくはスタッフにおたずね下さい。**

しんおおさかクリニック

